



TITLE:

摘録

AUTHOR(S):

CITATION:

摘録. 地球 1926, 6(3): 209-209

ISSUE DATE:

1926-09-01

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/183152>

RIGHT:

摘 録

○横山又次郎 美濃第三紀層の軟體動物化石

M. Yokoyama—Molluscan Fossils from the Tertiary of Mino. Jour Fac. Sci. Imp. Univ. Tokyo. Sec. 2. Vol. 1 pt. 7, 1926.)

美濃の南東部に動物及植物化石の多きことは以前より聞えてゐた。すでにブラウンス、吉原及び岩崎、松本諸氏の報告がある。本報文は主に地質調査所の石井技師が採集したる材料を扱ふたもので土岐郡瑞浪明世附近及び惠那郡本郷岩村遠山附近に於て得た。種数は三十七にすぎぬ。其中確實なるもの三十五種で二十一種は現在棲息するもの残り十四は現在生殘しなざるもので其割合は全體に對して四十パーセントを爲る。此十四の中二は中新世に知られ七は鮮新世に四は中新鮮新兩世に通ずる。以上により此地層は鮮新と斷ざるを得ぬ。しかし常磐の白土、東京以南の武蔵野系下部より明かに古く信州遠州紀州雲州等の鮮新世層に近い故に鮮新世下部と考へられる。新種は *Cylindrina affabilis*, *Cylindrina corpulenta*, *Cerithium ishianum*, *Soletelina minoensis*, *Crenella fornicata*, 重要な化石は *Vicarya b-culum* に著者以前に *Cerithium* なりたるもの。シヤバの *Vicarya callosa* とは別種なりと信ぜらる。(横山)

摘 録、新著紹介

○横山又次郎 上野其他の諸國の新第三紀貝類

(M. Yokoyama, Neogene Shells from Kozuké and other Provinces) 同じ大學紀要の同冊二三〇頁より二四七頁まで東京帝國大學地質學教室にある標本を同定したる結果を表示す。

化石産地は一、上野碓氷郡磯部板鼻間 二、同郡細野九十九川畔 三、北甘樂郡西牧村市野萱 四、北甘樂郡下仁田 五、相模足柄上郡矢倉澤地蔵堂 六、駿河駿東郡小山 七、伊勢一志郡柳原貝石山 八、隱岐隱地郡都萬村釜谷 九、同周吉郡中村伊後中ノ浦、右の内新種は *Crenella peramoena* 唯一にて第八の産地のもの。(横山)

新 著 紹 介

○日本地史の研究 早坂一郎著 菊版二五四頁 圖版

(コロタイプ)二六葉 索引付 大正十五年四月發行
東京内田老鶴園 定價五圓五錢。

先に大正十二年著者は別の本屋から日本地史の研究を出してゐたが震災で絶版になつたので内容を大いに改訂し其後の研究を追補し更に圖版は全然一新して本著を發行するに至つた。今日までの日本の地史學序學に關する種々なる専門的部門的研究報告は澤山にあるがさてまとつた一貫した著述は缺いてゐた。日本地史に就ての書がないといふ事は

二〇九

五九